

【草花の部屋】

ヒエラキウム・ウィルロスム
(キク科ヤナギタンポポ属 *Hieracium villosum*)

和名： 別名： 英名： Shaggy hawkweed.

キク目 多年草 原産地： 花言葉： 花の色： 黄



← 写真-1 ヒエラキウム・ウィルロスム

撮影日：2015年07月14日

撮影場所：シーニゲ・プラッテ高山植物園
(スイス)にて

撮影者：M さん

↓ 写真-2 ヒエラキウム・ウィルロスム

撮影日：2015年07月14日

撮影場所：シーニゲ・プラッテ高山植物園
(スイス)にて

撮影者：M さん



シーニゲ・プラッテ高山植物園内を散策中に見かけた花です。遠目に、タンポポかな?と思い、近寄って観ると葉や茎の様子が異なっていました。普段、

目にするタンポポの葉とは・・・。名札も付いていたので、帰国後、調べて解りました。

ヨーロッパアルプスからバルカン半島、カルパチア山脈に分布する植物。標高1200～2600メートルの山地草原に生え、高さは20～25センチになるそうです。

根生葉(こんしゅつよう)は、長楕円形から倒披針形で束生し、銀白色の羊毛状の毛に被われています。夏に鮮黄色の花を咲かせ、総苞もまた白い羊毛状の毛に包まれています。わが国の「みやまこうぞりな(深山髪剃菜)」の近縁だそうです。

シーニゲ・プラッテ高山植物園(アルペンガーデン)は、標高約1950mから2000mの山岳地帯に約600種類もの高山植物が、その植物が本来、生息している環境(岩山、ガレ場、草原など)をできる限り再現した植栽にしているそうです。散策路も整備され、ちょっとしたトレイルも兼ねたような高山植物園。数々の花が名札付きで見られて便利。全部を観察するには、二時間ほど・・・。

植物園の総面積は8,323 m²。2008年に兵庫県神戸市の六甲高山植物園と姉妹提携。約1時間弱の散策でしたが、エーデルワイスをはじめ、普段、なかなか目にするのでできない植物を堪能しました、が・・・。種類と量に、少々、食傷気味に・・・。ハイキング中に見かけた時のような感動は・・・。

1893年に開通した伝統の登山鉄道で、高低差1383mのルートをゆっくりと上った所がありました。車窓からアルプスの山々や、眼下にインターレーケン、トゥーン湖、ブリエンツ湖の眺望も楽しめました。

<ちょっと一言>

ミヤマコウゾリナ

(キク科ヤナギタンポポ属 *Hieracium japonicum*)

和名： ミヤマコウゾリナ (深山顔剃菜、深山髪剃菜)

英名： キク目 多年草 **原産地**： 日本

花言葉： **花の色**： 黄

*根出葉

地上茎の基部についた葉のことで、植物の葉の形態の一種。地中の根から葉が生じているように見える。根生葉(こんせいよう)、根葉(こんよう)とも言う。植物の中には非常に短い茎を持つ種があり、その葉はまるで根から出ているように見える。植物の根が葉を付けることはないが、外観からこのように呼ばれる。また、地下茎が付けた葉も同様。